

◇◆真理の探究メルマガ◇◆

%name%さま

こんにちは、西です。

前回の通信で、まだ詳細は固まっていないものの新しい企画の告知を少しだけお伝えさせていただきましたが、

「お金」

に関しては、もうその類の本なりセミナーなり、ありとあらゆる情報が溢れかえっていることからわかるように、

見方によっていろんな解釈ができるし、いろんな意味を持ちうるわけです。

単純に、マクロな経済全体における見方をすれば価値のものさしだったり、交換の媒体だったり、価値の保存の役割をするものだ、という捉え方もできるし、

「個人」におけるお金だったら、お金によって好きな物やサービスを選んで買うことができる、という「権利」を持っているんだ、というような見方もできるわけです。

「国」という単位で見れば、国の内部のお金と外部とのお金のやり取りだとか、為替がどうのこうのだとか、貿易赤字になるとどうだとか、インフレデフレがどうだとか、そういう見方にもなっていくし、

どこにフォーカスを定めるかによって、見え方が変わってきて、結果としていろんな意味を持つわけです。

さらに、「個人」に限定してみても、お金を貯めることと、稼ぐことと、増やすことと、使うこと、っていう“流れ”に着目すると、また見えるものが変わってきたりもします。

こういうふうには、どこにフォーカスするかによってお金に限らず物事はいろんな見え方をしますが、僕が今回やろうとしている企画では、あんまり手広くやっても扱いきれないし、

現実に自分という個人の人生を豊かにしていくという目的から明確に優先順をつけるのな

ら、

“お金を稼ぐ”

というところにまずフォーカスするのがいいのではないかと考えているので、

これはもちろん、もし今自分が十分なお金を持つことができているんだ、という人にとっては全く関係の無い話で、そういう人はもうさっさと次のステージに行くべきなのですから、

現実として、そういう人があまり多くはないというのは事実ですし、ここのみを執着して人生の大半を過ごしてしまう、ということも普通にあることで、

僕はこれは、あくまで個人的にですけれども、物凄く勿体ないことだなと、それこそ“人生の浪費”ではないかとも思っているくらいです。

だからこそ今回の企画は、いろんな見方ができる、それこそ幅広く扱おうと思えば無限に話しが広がっていくんじゃないかとも思える「お金」についてなんだけれども、

“稼ぐ”

というところに、特に「個人としてお金を稼ぐ」という事だけにフォーカスした講座を作ることにしたわけです。

これはもちろん、巷にあるような「稼ぎ方を教えます」みたいな実体のない薄ら寒いものでは全くないですし、(稼ぎ方なんて教えません)

「あなたもパソコン一つで毎月100万円以上を稼げるようになりませんか？」

みたいな、もうここ10年以上こすり倒されたような情報商材の煽り文句みたいなことを言うつもりも全くなくて、

そういうクソつまらないことではなく、

- ・そもそも「稼ぐ」というのはどういうことなのか？
- ・どういう人の元にお金は流れていくのか？
- ・お金の「流れ」ができるのか？

・お金の流れを生み出す「正体」って一体何なのか？

こういうことを原理原則から見ていこう、というスタンスで、どちらかというと実践型ではなく学問型の講座になると思います。

なので、これを学べば稼げるようになる、みたいな、そういう聞こえのいい話でも全くな  
いんだけど、

この原理原則を知らないまま、というか原則に沿った形で活動できていないと、どれだけ  
一生懸命頑張ったとしても、

「それがお金に繋がらない」なんてことが世の中を見渡せば無数に存在しているというこ  
とも事実で、

個人的には、人生に直結する学びの重要度としては相当高いものではないのかなと。

少なくとも、歴史の年号を覚えたり、連立方程式が解けることよりは遥かに重要だろうな  
と。

で、逆に言うと「それ以外の話」っていうのは全くやるつもりはありません。

デフレがどうのだから、インフレがどうのだから、スタグフレーションがどうのだから、  
政策金利がどうのだから、円安がどうのだから、

こういうマクロ的な話しは、重要ではないとは言いませんが、少なくともそれを理解した  
からと言って「個人として」できることって非常に限られているし、

マクロがどうなったとしても、個人として稼ぐ力っていうのを持っておけば、概ねどんな  
状態になっても、個人としてはお金に困ることがないわけです。

これは言ってしまうえば当たり前で、例えばいま1億円というお金を保有していたとしても、  
5年後にインフレによって物価が2倍になってしまいました、ってなるとその1億円は5  
年後にはいまの2分の1の価値、つまり5000万円相当まで目減りしてしまって、

単にお金を保有しているという状態は、このインフレによって大ダメージを受けるわけ  
ですが、

「稼ぐ力」があれば、インフレ後の物価状態においてもその物価の社会の中でしっかり稼

げるので、その社会に適応して問題なく生きていけるわけです。

まあそれはさて置き、とりあえず今回の講座では「お金」をテーマにはするものの、あくまでフォーカスするのは「個人として稼ぐ」という部分で、マクロ的な話しは詳しく取り扱わないので、

代わりに、一冊の本を紹介したいと思います。

Amazon 内をサーフィンしていたとき、数日前に偶々見つけた本で、ごく最近出版されたものなので読んだ人もまだ少ないんじゃないかと思いますが、

『きみのお金は誰のため』（田内学 東洋経済新報社）

という本です。

<https://amzn.to/3QB1hyq>

（いちおう Amazon リンク載せておきますが、例によって僕のアフィリエイトリンクになっているので、このリンクから購入すると僕の懐に幾ばくかの潤いが供給されますことご了承くださいませ。）

で、この本は小説仕立てのストーリー形式でお金について、特にマクロな視点で見た時のお金の見方を知るうえでは非常に分かりやすいし、読みやすい本だなと思ったのでここで紹介させていただきたいと思います。

マクロ経済に関しては、僕もかつていろんな本で勉強してきた過去がありますし、時々過去のメルマガでも紹介したことがあるんじゃないかなとは思いますが、

たぶんいろんな本を読んだ中でもこの本がダントツにわかりやすく、

僕らが個人として普通に生きていく中で最低限知っておきたい（マクロ的な意味での）お金の知識っていうのは、もうこの本で必要十分なんじゃないかと思うくらいです。

別に経済学者でも、政治家でもなければ、政策を決めるような仕事をしているわけでもない、普通に生きる人にとってはマクロ経済なんてそもそも興味の範疇ではないのだけれども、

それでも、目の前のことしか見えない状態での仕事と、マクロを知ってそれを正しく認識して意識できた状態での仕事っていうのは、

僕はあくまで個人的にですけれども、仕事の出来栄えに結構な差が生まれてくるんじゃないかとも思うんですね。

僕はバドミントンをやっているのですが、それを例に挙げますけれども、例えばスマッシュを打つとき、その打つ瞬間に、

「意識のフォーカスをどこに向けるか」

ってというのが実はすごく重要で、

シャトル（羽）に意識を向けるのか、ラケットに意識を向けるのか、腕に意識を向けるのか、ネットに意識を向けるのか、相手の身体に意識を向けるのか、

意識を向ける先（フォーカス）っていろいろあるんだけど、

例えば自分の腕に意識をフォーカスした時と、相手の身体に意識をフォーカスした時のスマッシュって、

傍から見ると同じようにスマッシュを打っているつもりでも、実際のスマッシュの質が全く違うものになるわけです。

で、これはあくまで傾向ですけれども、なるべく「自分」から遠く離れたところに意識をフォーカスできたほうが打球の質は高くなります。

つまり、上記の場合だと、自分の腕に意識をフォーカスするよりも、相手の身体に意識をフォーカスして打つスマッシュのほうが、

コントロールが安定するし、威力が上がります。

なので僕はいつも、スマッシュを打つ際には、相手の身体ではないけれども、相手コートの床にスマッシュが突き刺さるイメージをもって、そこに意識をフォーカスしてスマッシュを打つようにしていますが、

きっちりその意識で打てたときのスマッシュってというのが、やっぱり速いし重いんです。

逆に言えば、そこに意識を持てなかったとき、焦っていたり、迷っていたり、試合なんかだと「ここで決めたい！」みたいな余計な私欲が入った時って、大抵ミスるんですね（苦笑）

私欲が入った時は、だいたいミスる。

とはいえ、技術不足の段階で身の回りの動作が疎かなのに、いきなりそんな遠いところに意識をもっていてもちぐはぐになるだけなので、

身の回りの自分に近いところに意識をフォーカスして練習する段階というのも必要ではあるし、

あるいは、状況に応じてどこに意識を向けるのが最適か、というのは状況に応じて変わってくるので、最終的には意識のフォーカス距離を自由自在に調節できるのが理想ですが、

いずれにしても、どこに意識をフォーカスするかによって、打球の質は大きく変わるわけです。

で、これって何事においても似たようなものだと思っていて、自分が行う仕事においても、どこに意識のフォーカスを持てているかっていうのは、

言ってしまうとその人自身の「器」とか「厚み」みたいに表現できると思うんですけど、自分の外の遠い部分にフォーカスを持っていける人ほど、いい仕事ができているというような傾向があるように思います。

例えば僕の場合は、いまメインとしている仕事は資格試験のオンライン講座ですけども、

そのオンライン講座を受ける受講生の人に意識を向けられるのは当然ですけども、そこだけじゃなく、

じゃあその人がその資格を取得した後の未来とか、その人の家族とか、その人が今後関わる仕事だとか、その仕事仲間だとか、顧客だとか、顧客のそのまた顧客だとか、あるいはその顧客の未来だとか、

広げようと思えば無限に広がっていく、つまりどんどんマクロに広がっていくわけですけども、

その中で自分がどこまでの意識を持てているかっていうところで、今自分が目の前で作るものだったり提供するサービスの質だったりっていうのが、変わってくると思うんですよ。

少なくとも僕は、「変わっている」という実感を持っていますし、

もちろん、広げるだけ広げて目の前の事が疎かになれば、それはただの実体のない空虚な

ものになるだけなのですから、

現実に自分自身の力や能力を高めつつも、意識をマクロ的に広げていって守備範囲を広げていくような感覚っていうのも重要になってくるんじゃないかと。

そのためにはマクロ的な経済だったりお金の流れっていうものも、知っていることに越したことはないなと思うので、

その意味で、マクロ経済も最低限の知識として知っておくべきだし、そのための知識を得るものとしては、おそらく上記の本は大変優れているんじゃないかと思います。

では、今日はこの辺で。

最後までお読みいただきありがとうございました。

西

-----  
『真理の探究』会員サイトはこちら

URL : %SERVER%sp/%seller\_id%/item\_id%/member/top.html

メールアドレス : %mail%

パスワード : %password%

※バックナンバーはこちらからお読みいただけます。

運営者情報

<https://jscatch.com/tokushoho/>

メルマガの配信解除はこちらから

%cancelurl%

-----